

非稼働病棟における今後の運用計画について

医療圏	No. 資料1-3 で医療機 関に付し た番号	医療機関名	（病棟単位の）非稼働病床					①非稼働の理由		②当該病棟の今後の運用見通しに関する計画															備 考			
			病床機能				該当の病床数 (R6.9月末現在)		常時	期間限定	その他	(ア)再稼働予定	(イ)病床見直し・削減等				実施時期（年度） （ア）・（イ）の	(ウ)現状維持	(ア)～(ウ)で予定する病床機能 等					今後の運用計画の整合に係る				
													病床機能転換等	病床削減・廃止等	その他（病床以外）	補助制度等			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	未定・検討中					
			人材不足等	コロナ関連	施設整備等	稼働・運用中	その他	制度周知								活用意向										地域において担うべき 医療機関及び病床の役割等 （回答必須・記述式）		
取手・竜ヶ崎	1	J Aとりで総合医療センター	新棟5階病棟	休棟中等	急性期	急性期	30	204	●					●	●		●	未定		●					コロナ対応の為、小児科病棟（30床）を休床していたが、現在も看護師不足の為再稼働出来ずにいる状態です。看護師が充足すれば再稼働したい。			
	8	牛久愛和総合病院	B4	休棟中等	急性期	急性期	32		●					●	●		●	R6		●	●				産婦人科医師の確保が出来ず休床としている。産科病棟から他診療科病棟へ用途変更使用出来るよう改修工事を検討を開始している。他の診療科としては、救急搬送件数は、年間で3,500台以上で救急医療を中心とした急性期医療の提供が地域への役割であり、地域からの必要とされていると捉えている。また、ドクターカーの運用を開始し、より高度化した救急対応や感染症対策も担っている。また、一部病床を高度急性期（HCU病棟）へ移設も検討中。			
	10	東京医科大学 茨城医療センター	本館A病棟	休棟中等	休棟中等	休棟中等	43							●	●		●							●	大学病院として医師の育成と地域への医療貢献を役割としている。施設の老朽化に伴う南病棟の早急な建替え・改修計画の策定に際し、財政面を見据えつつ、本館B病棟を急性期病床、次に本館A病棟の病床機能を検討していく予定。		急性期病床として再稼働予定ではあるが、R7.7.1時点では実現しない見込み。	
			本館B病棟	休棟中等	急性期	休棟中等	38							●		●	●		●			●						
	18	秋田医院	—	休棟中等	慢性期	急性期	10		●					●	●		●			●					分娩再開に向けて人材確保して周産期体制を整えていく予定			
	19	あおぞら診療所	—	休棟中等	休棟中等	休棟中等	4			●			●		●		●	●	R7									
	20	丸野医院	—	休棟中等	休棟中等	休棟中等	19		●				●		●		●		R7									
	22	ひがしクリニック慶友（新規）	—	休棟中等	休棟中等	休棟中等	0						●			●	●		R6						同一法人である守谷慶友病院の非稼働病棟の解消に伴い、病院内に在る介護老人保健施設を当診療所に移転したため、令和6年度より病床数の変更（19床→0床）を行い、無床診療所へ変更いたします。	R6.3介護病床へ移行		
	25	野村医院	—	休棟中等	休棟中等	休棟中等	9		●					●			●		R8		●					人材を確保して婦人科短期使用の予定		